



ROTARY CLUB OF

NARA - WEST

DISTRICT WEEKLY BULLETIN
2650 No. 2503 2024. 3. 28

創立 1969年(昭和44年)12月13日
例会日 毎週木曜日18:00より
事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地
例会場 奈良ロイヤルホテル内
TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2023~2024年度
国際ロータリーのテーマ

2023~2024年度
地区のスローガン



世界に希望を生み出そう

「個性、基本、求心力」



2023-24年度 内輪会トロフィー

国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

RI第2650地区ガバナー
中野 博美

- | | | | | | | | | | |
|-----|--------|-------|-------|--------|-------|------|-------|-----|-------|
| 会 長 | 中西 吉日出 | 副 会 長 | 有馬 康明 | 会長エレクト | 佐川 寛一 | 直前会長 | 渡邊 巖 | 幹 事 | 笹本 麻琴 |
| 会 計 | 福川 益則 | 会場監督 | 野阪 幸男 | 理 事 | 井上 直治 | 理 事 | 谷垣 嘉輝 | 理 事 | 川野 隆祐 |
| 理 事 | 松中 隆 | 会報委員長 | 岡崎 義幸 | | | | | | |

今月は 水と衛生 月間です

第24回(2503回)例会プログラム令和6年3月28日(木)

- 開会宣言 点鐘
- ソング 「我らの生業」
- 来訪者紹介・出席報告
- 会長の時間
- ニコニコ報告
- 委員会報告・幹事報告
- 卓話:奈良市危機管理監 下畑 宏様
「能登半島の現状」
- 閉会宣言・点鐘

第23回 (2502回) 例会報告 2024. 3. 14 ソング

「ロータリーって何だろう」

来訪者紹介

孫 宇形さん 米山奨学生

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通算2502回	36	4/7	24/29	5	84.9%
通算2500回修正	36	4/7	23/29	6	81.8%

会長の時間 (中西会長)

皆さんこんばんは。奈良市内では、伝統行事のお水取り 修二会の本行が終わり、春を迎えることになりそうです。この東大寺二月堂の修二会とおなじ、薬師寺でも修二会が行われます。

薬師寺の修二会、花会式は、国家の繁栄と五穀豊穡、万民豊樂などを祈る、春の行事で、10種の造花がご本尊に供えられることから「花会式」と言われています。期間中は1日6回、「練行衆」と呼ばれる僧侶によって薬師悔過法要が行われます。

花会式は3月25日から31日にかけて行われ最終日の31日には「鬼追い式」が行われます。

1300年の歴史を持つ霊山寺でも、旧暦の正月に、修二会法要が行われています。本尊薬師如来にすべての人々の罪を悔いあらため、五穀豊穡、万民豊樂、世界平和を祈っての法要が営まれております。

奈良佛教の寺院では、1月に勤める法要を修正会、2月に勤める法要を修二会と呼び、法要を厳修し今に続いています。

薬師寺でも1月の修正会が勤められ、2月には修二会が勤められます。薬師寺の修二会が花会式と呼ばれるようになったのは、嘉承2年(1107年)堀川天皇が皇后の病氣平癒を薬師寺修二会の薬師悔過法要に祈願され、靈験を得て回復された皇后が、翌年宮中の女官と共に薬草で染めた和紙で造花を造りお供えされました。以来薬師寺修二会を花会式と呼ぶようになり、椿・梅・桜・桃・山吹・牡丹・杜若・藤・百合・菊の十種、合計1696本の造花を12瓶に生けお供えされます。

出仕する僧侶は10人で、練行衆と呼ばれ3月25日から3月31日まで1日6回の悔過法要を勤め、意識無意識に犯している過ちを国民に代わって懺悔し、国家繁栄・万民豊樂・天下泰平・五穀豊穡・病氣平癒を薬師三尊様に祈願されます。

また、鬼追式では薬師如来の力を授かった毘沙門天が暴れ回る黒・青・赤・白・黄の5匹の鬼を退散させます。

また薬師寺にとって失われた伽藍の復興は長年の悲願でした。

昭和43年(1968)、管主だった高田好胤和上は、「物で栄えて心で滅ぶ高度経済成長の時代だからこそ、精神性の

会長の時間(続き)

伴った伽藍の復興を」と訴え、お写経勸進による白鳳伽藍復興を始められました。

一卷千円の写経で、百万巻の写経勸進して、金堂の復興を目指されました。高田管長は全国を行脚し、お写経を通して「美しい心の再発見」を呼びかけ、昭和51年(1976)に目標の百万巻を達成し、金堂が落慶されました。お写経勸進による白鳳伽藍の復興は平成30年で50周年を迎えました。西塔、中門、回廊、大講堂、食堂と白鳳伽藍の主要な堂塔はおおよそ復興され、いにしえの大伽藍がよみがえっています。

薬師寺の伽藍復興は、まさに日本人の美しい心の結晶として行われました。白鳳時代の祈りと昭和、平成、令和の信仰を伝えることが薬師寺の次なる目標とのことです。

我々ロータリアンも基本理念にしたがって行動し、四つのテスト、ロータリーの目的、五大奉仕など価値観を広め、世界のネットワークを通して国際理解、親善、平和を推進していきましょう。

以上会長の時間といたします。



ニコニコ報告

中西吉日出会長

笹本幹事、先週に引き続きの「続・明治150年 真の日本の姿」卓話、よろしくお願いします。

渡邊巖P会長、植野洋志P会長、谷垣嘉輝会員、下村由加里会員、東山光秀会員、小松玲子会員、福川益則会員、加藤又拡会員、岡崎義幸会員、丸山佳映会員

笹本幹事、先週に引き続き独断と偏見の卓話、よろしくお願いします。ニコニコ

会員ご夫人の誕生祝

■3月生まれ■

津山初雄会員夫人 加代子様 3月29日生

おめでとうございます

ロータリー財団表彰



吉村信男P会長

ポール・ハリス・フェロー マルチプル5

中井肇一会員

ポール・ハリス・フェロー

木村和弘会員

ポール・ハリス・フェロー

加藤又拡会員

ポール・ハリス・フェロー

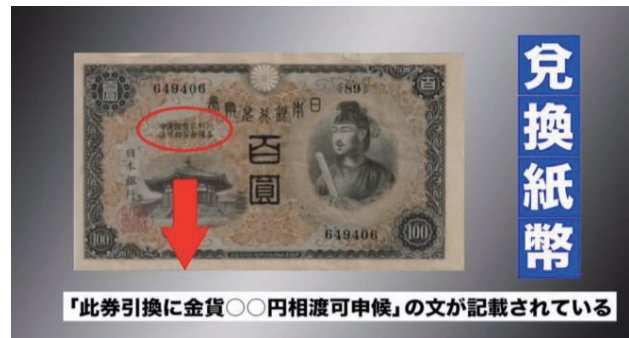


幹事報告(笹本幹事)

例会変更情報は表の掲示板に掲載しております。

「続・明治150年真の日本の姿」

笹本 麻琴 会員



戊辰戦争が終わり、明治新政府が誕生しました。この新政府は江戸時代に大量の金が出たため、資金不足に直面していました。そこで、金と交換する紙幣を発行しました。これが兌換紙幣であり、現在の1万円札や5千円札の元になっています。日本国内では通貨の信用が早く確立されましたが、アメリカなどでは最近までゴールドと交換できるお札を発行していました。

一方、江戸時代の武士の給料はお米で支給されていました。なぜなのかというと、日本は自然災害の多い国であり、被災地の人々を救助するために年貢米を徴収していました。この年貢米は備蓄され、必要な時に御蔵米として放出され、庶民の生活を助ける役割を果たしていました。

大昔、日本では御蔵米と呼ばれる備蓄米があり、これは高床式の建物、特に山の頂上にある神社に保管されていました。これらの神社は地域の共同体の共有物であり、自然災害の多い日本で餓えることがないように、みんな共同して働き、お米を蓄えていました。また、お米はお金と違って蓄えることができる期間が限られているため、お米を使って道を作ったり、橋を架けたりするなど、みんなの共有財産として使われていました。

しかし、明治時代になると、西洋のやり方に合わせて税金はすべてお金で払ってもらうようになり、お米は両替屋さんのところに持って行って現金に変えてから税金を払う仕組みになりました。この変化の中で、最も大きな利益を得たのは金融屋で、この金融の分野には外国の資本が入ってきました。これにより、現在の日本では、金融機関は政府の管轄ではありませんが、政府ではない日本銀行という銀行になっています。

また、明治の初めには、旧暦による閏年があり、その年は公務員の給料を13か月分払わなければならなかったため、明治政府はお金がないために払えず、西洋式の太陽暦に変えることでその年を無理やり12か月にしてしまいました。これが日本における太陽暦の始まりとなりました。

明治政府は、貧困な状態から脱却するために、産業を育てて外国から金を取り戻す必要があると考えました。そのため、西洋の需要に合った商品を日本国内で生産することが重要でした。この時期、富岡製糸工場などの工場が生まれ、船舶技術も発展し、造船業が盛んになりました。しかし、諸外国との不平等な条約が問題となり、日本人の命を軽視したノルマントン号事件が起きました。この事件をきっかけに、日本は経済力と軍事力の両面で強くなる必要があると認識され、富国強兵政策が進められました。

日本の宮中晩餐会では、外国の大使や賓客にフランス料理が出されることがあります。世界中の国々でも、外国の賓客をもてなす際には、自国のお国自慢料理を提供するのが一般的ですが、日本はなぜフランス料理を選ぶのでしょうか？これは明治時代に、西洋文化に追いつくために、外国から来た賓客に対してフランス料理を出すことで、日本の文明開化をアピールしたためです。

また、日本の礼服も明治時代に変化しました。江戸時代までは喪服や礼服は白でしたが、明治天皇が黒い衣服を着ることで新しい習慣として定着しました。

一方で、日清戦争が勃発しました。この戦争は日本が辛うじて勝利したものの、多くの死傷者が出ました。日清戦争は、1894年から1895年にかけて朝鮮半島で日本と清国(中国)が戦った戦争です。日本は清国を撃破し、下関条約を締結しました。この戦争では、両軍合わせて約35,000人の戦病死者が出ました。実際の戦闘で戦死・戦傷したのは1,417人で、その他は病死者でした。当時の大陸は伝染病の宝庫であり、衛生環境が悪く、水を飲むこともままならない状況でした。

さらに、日露戦争でも日本は勝利しましたが、現代の日本の年間自殺者数は当時の戦争による死者数をはるかに上回っています。

日清戦争までは有色人種同士の戦いでしたが、日露戦争は白人種と日本人、有色人種との戦いでした。日本が勝利したこのニュースは世界中に広まり、有色人種に刺激を与えました。当時、白人国家が有色人種国を

